

諸外国等の作成開示基準等の事例

<p>1. オランダ 環境管理法</p> <p>環境報告法令 (1999年)</p>	<p>事業所が引き起こした環境に有害な結果 事業所が環境保全のために施した技術的、組織的、管理的手段及び対策 上記に関する次年度の合理的な予測情報 事業所名、事業所のSBIコード、環境担当役員名、そして下記の環境負荷に関する情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気候変動（オゾン層破壊物質・温室効果ガスの空中放出、エネルギー使用と効率） ・ 酸性化（酸化物質の空中放出） ・ 空中への拡散（規制物質・殺虫剤・届出義務物質の空中放出） ・ 地表水への拡散（水質規制物質・殺虫剤・届出義務物質の直接的・間接的放出） ・ 富栄養化（排水への窒素・リンの直接的・間接的放出） ・ 排出（廃棄物の排出、廃棄物の再使用量、事業所内での廃棄物の焼却・投棄、廃水処理） ・ 枯渇（水資源の使用、水資源に関するエコ・バランス） ・ 土壌保全（土壌に関する内部的なリスク分析、保全対策、実施した土壌調査及び浄化） ・ 騒音（実施した騒音防止対策） ・ 悪臭（実施した悪臭防止・削減対策） ・ 事業所外部の安全（実施した重大事故の防止対策及び成果） ・ 環境管理（EMS・資源管理・環境パフォーマンスの実績・次年度予測、環境監査・監査報告書、環境管理計画・エネルギー管理および削減計画、事故・障害・苦情等） ・ 環境関連の状況変化（環境負荷・環境管理に影響する事業所の組織変更・経済状態の変化） ・ 環境に関する許可（当該許可についての情報、許可条件の変更） 	<p>報告年度中に実施した削減対策および次年度実施予定の削減対策・削減予測値を記載</p> <p>次年度実施予定の削減対策・削減予測値を記載</p>
<p>2. デンマーク 環境計算書法</p> <p>グリーン・アカウント（環境報告書）（1996年）</p>	<p>会社名及び所在地 産業部門及び重要な副次的業務 監査・監督を担当する郡当局の名称 最も重要な環境に関する操業許可（法律）の内容 包括的許可を受けている場合にはその日付 主要業務及び重要な副次的業務に直接関連する重要な資源消費及び環境負荷パラメーターに関する短い定性的記述 基礎的事項（上記記載のもの）に関する経営者の説明 環境パフォーマンスに関する内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産工程に投入された主要なエネルギー、水、原材料の消費量 ・ それらのうち製品及び廃棄物への転化量、大気・水域・土壌への放出量 ・ 生産により生成した汚染物質の種類・量 <p>環境報告書に対する監査が実施された場合は監査人の氏名及び所属、監査報告書を記載（但し監査は任意）</p>	<p>データシートの形式にまとめて報告</p>

<p>3 ノルウェー</p> <p>会社法</p> <p>年次報告書内の ディレクター声 明における環境 情報（1999年）</p>	<p>運営報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境に対し顕著な影響を与え得るような、活動を取りまく状況、原材料や製品 ・ 環境影響、環境への悪影響を防ぐ為の計画あるいは取組の内容 ・ 企業が設定した展望や目標、及び行政機関、顧客や納入業者の予測している環境面での限界 <p>環境データ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費エネルギー・原材料の種類と量 ・ 排出汚染物質、騒音、ほこり、振動の種類と量 ・ 企業より排出された、あるいは企業に属する廃棄物の種類と量 ・ 事故の危険性 ・ 運輸に伴う環境負荷 <p>製品関連（材料や製品を製造している企業が対象）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 製品内の有害物質の種類と量 ・ 製品の使用後段階での廃棄物の種類と量 ・ 製品の使用後段階における環境負荷
<p>4 スウェーデン</p> <p>会社法</p> <p>年次報告書内に おける環境情報 （1999年）</p>	<p>製造過程から生じる栄養を含む、企業の外部環境への影響（水、大気への排出、音、廃棄物など） 影響が企業の財務パフォーマンス或いは未来のパフォーマンスに直接或いは間接の影響を与えているかどうか 企業が環境法に列挙されている理由、及び環境法に列挙される原因となっている活動への依存度 企業は環境法のどの条項に該当するのか、翌年に更新或いは改正されなければならない主要な許可証の有無</p>
<p>5 フランス</p> <p>商業会社法</p> <p>商業会社法令 2002-221（2002 年）</p>	<p>下記の事項に関する記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水資源の消費量 ・ 原材料とエネルギーの種類およびその消費量 ・ 再生可能エネルギー利用およびエネルギー効率の向上を図るための対策 ・ 土壌の状態 ・ 環境に著しい影響を及ぼしうる汚染物質（大気、水、土壌）の排出 ・ 環境省及び産業省の指示によって決定されうる騒音・悪臭公害と廃棄物の表 <p>生態系のバランスや自然環境、また保護下にある動植物（種）へ与える影響（ダメージ・被害）を最小限に抑える為の対策の内容 環境保護の観点からとられている評価或いは証明活動（業務）の内容 企業活動分野における法的要件に準拠する為の行動（活動）の内容 企業活動によって環境に与える影響を削減するために要した費用 企業内部に環境管理問題やその問題に関する従業員への教育や情報伝達を担当する部署、環境リスクの削減を専門に扱う対策方法、そして 事業所外部に影響をもたらす公害・事故を取扱う組織の有無</p> <p>環境リスクのために割り当てられた対策と保証にかかった費用（この情報が訴訟中の企業に深刻な偏見を与えうる可能性がない場合において 裁判所から下された命令の履行において会計年度中に支払った環境への損害に対する賠償金額とその環境回復のために施した対策の内容</p>
<p>6 EU</p> <p>欧州委員会勧告</p> <p>年次会計報告での環境関 連情報開示（2001年）</p>	<p>加盟各国に、企業の年次会計報告や年次報告書における環境関連事項の認識、測定及び情報開示に関する勧告に添って、その勧告の実施を 促進するべく適切な手法をとり、とられた手法を欧州委員会に報告するよう勧告 報告への直接的影響：欧州委員会は加盟国に国レベルで直接的手法をとることを奨励</p>

7 ISO14031
附属書Aにおける
指標の例

指標例は多数
のため、一部の
みを記載

- マネジメントパフォーマンス指標 (MPI)
- 方針及びプログラムの実施
- ・ 達成された目的及び目標の数
 - ・ 環境目的及び目標を達成する組織単位の数 等
- 適合性
- ・ 規制遵守の程度
 - ・ 環境事故への対応または是正までの時間 等
- 財務的パフォーマンス
- ・ 製品またはプロセスの環境側面に関係するコスト (操業コスト及び資本コスト)
 - ・ 環境改善プロジェクトの投資に対する収益 等
- 地域社会関係
- ・ 環境関連問題についての質問またはコメントの数
 - ・ 地域社会に提供された環境教育のプログラム及び資料の数 等
- 操業パフォーマンス指標 (OPI)
- 材料
- ・ 製品単位当たりの使用材料の量
 - ・ 処理済材料、リサイクル材料及び再使用材料の量 等
- エネルギー
- ・ 年当たり又は製品単位当たりのエネルギーの使用量
 - ・ 単位サービス又は単位顧客当たりのエネルギー使用量 等
- 組織の操業を支えるサービス
- ・ サービス提供の契約者が使用する有害物質の量 等
- 施設及び装置
- ・ 容易に解体、リサイクル及び再使用できるよう設計された部品を含む装置の数
 - ・ 緊急事態または非定常時操業 (運転) の年間回数
- 供給と引渡し
- ・ 車両輸送の平均燃料消費量
 - ・ 一日当たりの、輸送方式ごとの貨物便数 等
- 製品
- ・ 有害物特性を減らして市場に導入した新製品の数
 - ・ 再使用またはリサイクルのできる製品の数 等
- 組織によって供給されるサービス
- ・ 燃料消費量 (サービスが輸送を伴う組織用)
 - ・ 製品の販売後のサービス期間に使われた材料の量 等
- 廃棄物
- ・ 年当たりまたは製品当たりの廃棄物の量
 - ・ 年間の有害、リサイクル可能または再使用可能な廃棄物の量 等
- 排出物
- (大気への排出)
- ・ 年間の特定排出物の量
 - ・ 単位製品当たりの特定排出物の量 等
- (土壌または水域への排出)
- ・ 年間の特定材料の排出量
 - ・ 単位製品当たりの水域に排出される特定材料の量 等

8 GRI
ガイドライン
Part C
報告書の内容

コア指標とサブ指標とに分かれるが、コア指標についての概略のみを記載。経済的パフォーマンスと社会的パフォーマンスは参考例示。

ビジョンと戦略

概要

管理組織とマネジメントシステム

GRIの目次・見出し

パフォーマンス指標

経済的パフォーマンス

- ・ 顧客：総売上 等
- ・ 供給業者：全調達品の総コスト 等
- ・ 従業員：給与と給付金総支払額の国ないし地域ごとの内訳
- ・ 投資家：投資家への配当 等
- ・ 公共部門：支払い税額 等

環境パフォーマンス

- ・ 原材料：原材料の種類別総物質使用量 等
- ・ エネルギー：直接的、間接的エネルギー使用量
- ・ 水：水の総使用量
- ・ 生物多様性
- ・ 排気、排水、廃棄物：温室効果ガス排出量、オゾン層破壊物質の使用量と排出量、廃棄物総量 等
- ・ 製品とサービス：主な環境影響、使用後に再生利用可能として販売された製品の重量比および再生利用率 等
- ・ 法の遵守

社会的パフォーマンス

(労働実務と仕事の適切性)

- ・ 雇用：労働力の内訳 等
- ・ 労働/労使関係
- ・ 安全衛生
- ・ 教育研修
- ・ 多様性と機会：機会均等に関する方針やプログラム 等

(人権)

- ・ 方針とマネジメント：業務上の人権問題の方針 等
- ・ 差別対策
- ・ 組合結成と団体交渉の自由
- ・ 児童労働
- ・ 強制・義務労働

(社会)

- ・ 地域社会
- ・ 贈収賄と汚職
- ・ 政治献金

(製品責任)

- ・ 顧客の安全衛生：顧客の安全衛生の保護に関する方針 等
- ・ 製品とサービス：商品情報と品質表示に関する組織の方針 等
- ・ プライバシーの尊重